

昭和60年度 和歌山県文化賞

ひえ だ かず ほ
稗 田 一 穂

住 所：東京都世田谷区

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：大正9年

■現在

東京芸術大学教授

創画会会員

◎業績及び経歴

幼少より商業図案家であった父・耕一氏の薫陶を受け、画家を志し、東京美術学校日本画科に入学。昭和18年同校卒業、翌年より山本丘人氏に師事した。

氏の画壇への本格的なデビューは昭和21年の第1回日展においてであったが、昭和23年からは新しい日本画の創造を目指した創造美術の創立に加わり、新制作協会日本画部、創画会と続く一連の流れの中で活躍される一方、昭和41年より母校、東京芸術大学 日本画科で教えられ、後進の指導に情熱を注いでおられる。

氏の作品は、花鳥、風景をモチーフとしたものが多く、幻想的で抒情豊かなものであるが近年は人物画にも新境地を拓かれている。

昭和57年には、和歌山県立近代美術館で、昭和59年には、東京で大規模な回顧展が開催されている。

又、東京国立近代美術館をはじめ、内外の主要美術館に多くの作品が収蔵されているが、和歌山県立近代美術館にも青年期から近作に至る19点の代表作が所蔵され、今日の日本画壇を支える重要な作家として高い評価を受けている。